

AV MATERIAL

ニュースクリップ & 映像教材

AV情報

■「フィルムは記録する－国立映画アーカイブ歴史映像ポータル」開設

国立映画アーカイブは、これまで上映の機会や放送・パッケージでの普及が限られてきた国立映画アーカイブ所蔵の文化・記録映画を全篇視聴可能な状態で、配信する。

<内容>日露戦争の記録をはじめ、文部省が推進した科学やスポーツ、観光などを扱う教育映画、行政や企業による産業や地方振興のPR映画、皇室行事や軍事演習の記録など、題材も撮影場所も多彩な87作品を、初回分として一挙公開。国立映画アーカイブのホームページを参照のこと。

<問い合わせ先>国立映画アーカイブ「フィルムは記録する」広報担当 TEL 03-3561-0823

■内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）

「インターネットの安全・安心ハンドブック」

Ver.5.00公開

内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）では、安全・安心にインターネットを利活用してもらうことを目的に「インターネットの安全・安心ハンドブック」を制作、公開している。このたび、そのVer.5.00の内容を公開した。

<内容>プロローグ「インターネットにある基本的なリスクやトラブルを知ろう」、以下、第1～7章、付録「知っておくと役立つサイバーセキュリティに関する手引き・ガイダンス」、用語集、索引、関連資料「保護者と利用者とのスマホ契約書サンプル」等。令和5年1月のサイバー空間の最新動向や、特に気を付けるべきポイント等を踏ま

えて改訂されている。本ハンドブックは、ダウンロード可能。詳細は、

<https://security-portal.nisc.go.jp/guidance/handbook.html>を参照のこと。

<問い合わせ先>内閣サイバーセキュリティセンターホームページまで。

■（一社）日本教育情報化振興会「情報活用能力を育む授業づくりガイドブック 中学校編」発行

（一社）日本教育情報化振興会では、学習のプロセスに情報活用能力を位置づけた「情報活用能力ベーシック」を各教科の授業づくりに活用しやすい標記ガイドブックを作成しHPで公開した。

<内容>中学校版情報活用能力ベーシック 国語・社会、数学・理科／英語・「情報活用能力ベーシック」を活用し作成した情報活用能力体系表／広がる情報活用能力ベーシックの活用／情報活用能力を育む授業事例等。本冊子はHPよりダウンロード可能。希望者には発送対応も。

<問い合わせ先>（一社）日本教育情報化振興会 TEL 03-5575-5365

■IPA「情報セキュリティ10大脅威2023」解説書を公開

（独法）情報処理推進機構（IPA）は、2022年に発生した社会的に影響が大きかったと考えられる情報セキュリティにおける事案（個人の1位「フィッシングによる個人情報等の詐取」、組織の1位「ランサムウェアによる被害」以下、それぞれ10位までの項目）について、その対策・普及の一助となる解説書「情報セキュリティ10大脅威2023」および簡易説明資料／スライド「情報セキュリティ10大脅威2023」（組織編）を公開。

詳細は、IPAのホームページ「情報セキュリティ10大脅威 2023」を参照。

<問い合わせ先> (独法) 情報処理推進機構セキュリティセンター MAIL vuln-inq@ipa.go.jp

■中央教育研究所「教科書研究奨励金」公募

(公財) 中央教育研究所では、若手の研究者による教科書に関する研究の発展と日本の教育の改善を目的とし、教科書に関連する研究に奨励金を交付しており、その交付先を公募している。

<助成対象> 日本および諸外国の学校またはその他の教育機関で使用されている教科書についてのさまざまな研究。教科は問わない。教科横断的な研究、諸外国の教科書研究など。

<応募資格> 大学院生、大学教員、研究者等。

<交付金額> 1件につき20万円。

<締切> 令和5年4月25日(火)

<問い合わせ先> (公財) 中央教育研究所

TEL 03-5390-7488

■「第14回教育総合展EDIX東京」開催

EDIX実行委員会主催により、最先端の教育を学び・体験できる場として、標記の展示会が開催される。

<日時> 令和5年5月10日(水)～12日(金) 10:00～18:00、最終日のみ17:00終了。

<会場> 東京ビッグサイト西展示棟(東京都江東区有明3-11-1)

<内容> 教材・教育コンテンツ、学校業務支援、教育DX、ICT機器、人材育成・研修、学校施設・サービス、保育・幼児教育、STEAM教育の8つのエリアでの展示、セミナー等。要事前申込。

<問い合わせ先> RXJapan(株)

TEL 03-3349-8749

コンクール情報

■「第64回科学技術映像祭」入選作品決定

優れた科学技術映像を選奨することを目的に、(公財) 日本科学技術振興財団、(公社) 映像文化製作者連盟、(公財) つくば科学万博記念財団、(一財) 新技術振興渡辺記念会主催による標記映像祭において入選作品が決定した。内閣総理大臣賞自然・くらし部門「NHKスペシャル 超・進化論 第1集 植物からのメッセージ ～地球を彩る驚異

の世界～」、文部科学大臣賞自然・くらし部門「目撃者 f 消えないアラーム～医療的ケア児 命つないだ先に～」、同賞研究・技術開発部門「ドキュメンタリーシリーズ WHO I AM LIFE ヴィクトリア・モDESTタ(バイオニック・ポップ・アーティスト)」、同賞教育・教養部門「雅なクモ ジョロウグモの一生」他。

なお、入選作品上映会は、令和5年4月20日(木)・21日(金)、科学技術館(東京都千代田区北の丸公園2-1)において、以降、順次全国各都市の科学館等で開催される。

<問い合わせ先> 科学技術映像祭事務局(公財) 日本科学技術振興財団内 TEL 03-3212-8487

■第39回「学習デジタル教材コンクール」作品募集

(公財) 学習情報研究センターでは、標記コンクールの作品を募集している。

<応募資格> ○団体(学校、教育委員会、教育センター、その他教育機関、研究グループ等、教員の指導のもとにある児童生徒) ○個人(学校の教員、教育委員会、教育センターの教育関係専門職、その他教育経験者等)

<対象作品> ○教員等が作成したもの。文字や画像、朗読(音声)、動画等を使ったわかりやすく豊かな学習を実現するデジタル教材/映像素材提示等のためのWebページ等。○児童生徒が作成したもの。教員の指導のもとに児童生徒が学習活動の一環として作成した上記形態の学習者用デジタル教材等。

<賞> 文部科学大臣賞、学情研賞他。

<応募期限> 令和5年5月8日(月)

<問い合わせ先> (公財) 学習情報研究センターコンクール係 TEL 03-6205-4531

■第50回「日本賞」作品募集

NHKでは、世界中の教育コンテンツの質の向上に貢献すること、社会と文化の相互理解を促進することを使命として、標記コンクールを実施する。

<資格> 応募作品を制作・放送する、または著作権を有する放送事業者、映像制作プロダクション、コンテンツ制作プロダクション、教育研究機関、非営利活動団体等。個人による応募は受付けない。

<部門> 1 幼児、2 児童、3 青少年、4 一般。

<応募対象>テレビ番組、映画、ビデオ作品（尺60分以内）、デジタルメディア作品（ウェブゲーム、ゲーム、アプリケーションソフトウェア、クロスメディアコンテンツ等）の場合、作品内容を説明した解説動画（尺10分以内）を必ず提出すること。なお、1機関が応募できる作品数は最大で、計4作品。

<賞>グランプリ日本賞、各部門最優秀賞他。

<締切>令和5年5月31日（水）23:59（日本時間）必着。

<問い合わせ先>日本賞事務局

MAIL s02703-japan-prize@nhk.or.jp

■「富山映像大賞2023」映像作品募集

富山映像大賞運営コンソーシアム、富山市は、映像文化の発信と若手クリエイターの発掘・育成を目的に標記コンクールにおいて、映像作品を募集している。

<公募コース「テーマ」>①プロフェッショナルコース「いのち」、②市民向けコース「ファミリー」。短編映像作品（ジャンル問わず・5分以内）。

<応募条件>プロ・アマチュア/個人・グループ・企業・国籍を問わない。市民向けコースにおいては、応募の時点で富山市内に在住または富山市に通勤通学していること。応募の時点で18歳未満の応募者は、保護者等の同意を得た上で応募のこと。他のコンテストに応募、もしくは受賞した作品も応募可能。令和2年10月10日以降に完成または公開された作品に限る。応募作品数の制限はなし。応募料は、無料（ただし、応募に伴う一切の費用は応募者負担）。

<賞>①プロフェッショナルコースグランプリ賞金100万円（1作品）、②市民向けコース最優秀賞賞金5万円（1作品）、特別審査員賞、優秀賞。

<締切>令和5年5月31日（水）日本時間13:00まで。

<問い合わせ先>富山映像大賞運営事務局

富山市まちづくり推進課 TEL 076-443-2054

文部科学省選定作品

■2月選定 紙 紙しばい DVD 回

「じいとてんぐのとりにかえっこ」紙12枚<小学校

低学年/少年、教養> (株) 童心社

「きょうはおたんじょうかい」紙8枚<幼児、教養> (株) 童心社

「福島のいま」回10分<中学校、理科/少年、国民生活（環境・資源・エネルギー）> (株) 放送映画製作所東京支社

「Logistics for the future!～地域、世界を結ぶ物流の役割～」回23分<中学校、社会> (株) 放送映画製作所東京支社

「18歳が知るべきこと～成人になる人が知るべき注意点と心構え～」回13分<高等学校、特別活動> (有) 鹿児島文化企画

「巨大地震後 水は? 電気は? 一人ひとりの防災行動を考える」回20分<成人、地域社会生活（災害予防・対策）> (株) 映学社

映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/main9_al.htm

短信

■文部科学省初等中等教育局修学支援・教材課の異動 令和5年4月1日付

○修学支援・教材課長 山田哲也氏→内閣府科学技術・イノベーション推進事務局参事官○就学支援係長 本井至氏→札幌市スポーツ局○情報教育企画係長 近藤広理氏→岡山県総合教育センター○専門職 新井亮裕氏→修学支援・教材課デジタル教材企画係長（役職変更）○教育情報振興室室長補佐 大塚和明氏→国立高等専門学校機構（明石工業専門学校）○教育情報振興室専門職 小松宏氏→宮崎県教育委員会○学校デジタル化プロジェクトチームリーダー 武藤久慶氏→修学支援・教材課長○学校デジタル化プロジェクトチームサブリーダー 中村義勝氏→京都府教育庁○埼玉県教育委員会 大谷朋宏氏→就学支援係長○宮崎県教員研修センター 杉昌樹氏→情報教育企画係長○京都大学 坂本亜紀子氏→教育情報振興室室長補佐○埼玉県教育委員会 渡辺洋平氏→学校デジタル化プロジェクトチームサブリーダー

※本欄掲載のイベント開催等の最新情報は、主催者<問い合わせ先>に、ご確認ください。